



2011年1月15日 第66号
 発行人：大田 和人
 発行：特別養護老人ホーム白島荘
 〒562-0012 箕面市白島3-5-50
 TEL：072-724-5511
 FAX：072-720-2054
 ホームページ：http://www.osj.or.jp
 メール：hakusima@hcn.zaq.ne.jp



謹賀新年



副施設長 嵯峨 くるみ



新年あけましておめでとうございます。
 昨年はこのほか暑い夏が長く続き、何回「暑い～暑い～」という言葉を出したことでしょうか。まだかまだかと少しでも涼しくなるのを待ちわびたものです。白島荘の皆様、そして在宅でお暮らしの皆様もいろいろ工夫をして猛暑に立ち向かわれたことでしょう。日本の、いや地球の気候が少し…へん?になっているようにも感じます。

さて、昨年から事業団40周年にあたりいろいろな取り組みをしています。ここにいくつか紹介させていただきます。

光明の郷ケアセンターにおいて、昨年10月に「サポーター祭り」を催しました。日頃ケアセンターの運営を支えて下さっているご利用者様やご家族様はもちろんのこと地域の方々、関係機関の方々、そして職員やその家族、皆に感謝の気持ちを込めたお祭りになるようにと企画したものです。当日は雨模様にもかかわらず、200名に近い来館者をお迎えすることができ大変うれしい限りでした。もっと来てもらいたい、もっと知ってもらいたい、今後もそれに向けた努力は惜しまないつもりです。また、白島荘ではご利用者様と土いじりを楽しむ園芸活動に励んでおります。四季折々に咲く花、野菜など目と舌で満喫しています。職員の楽しみにもつながればと願っています。看護科では「嚥下」をテーマに取り組んでいます。嚥下機能をできるだけ維持したいという強い思いがあり

ます。それとも関係する「食」の取り組みを栄養科でも行っており、食事の形状を始めとし柔らかかさや舌ざわりなどご利用者様が少しでも「食」の楽しみを持ち続けていただけるよう日々研究を重ねています。グループホーム「華の家」では、特別強化事業のひとつとして地域の方々にグループホームを知ってもらおうという取り組みをしています。地域の催しには参加させていただくことはありますが、逆に地域の方にグループホームに来ていただきたいということで「手作りお菓子教室」「フラワーアレンジメント教室」を開催し職員が講師を務めご利用者様と一緒に楽しんでおります。「知らなかった」「こんなところだったの」と普段の様子を垣間見ていただけています。「また参加させていただくわ～」の言葉がとても励みです。

それぞれの取り組みの中で共通して言えることはご利用者様をはじめ関係者の皆様に感謝する気持ちと、ご利用者様への「想い」をギュッと込めている職員の姿です。今後も普段の生活の充実はもとよりさまざまな取り組みに努力してまいりたいと考えています。これからも白島荘グループを職員ともどもお引立させていただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年うさぎ年が皆様にとりまして素晴らしい年になりますように心からお祈りしております。



3階特養にて餅つき会 平成22年12月21日(火)



医務室だより

毎年11月～3月にかけてインフルエンザ・ノロウィルスの感染症が流行しますが、今年は例年より早く増加の傾向にあります。

インフルエンザとは

- 1～4週間の潜伏期間を経て突然38.0℃の高熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛、関節痛が出現し、咳などが続きます。全身症状が強いのが特徴です。
- 通常は1週間前後で軽快します。

ノロウイルスとは

- 手指や食品を介して経口感染し、嘔吐、下痢、腹痛などをおこします。
- 潜伏期間は1～2日で、症状は1～2日続いた後治癒します。
- 治療は、輸液などの対象療法です。

肺炎球菌ワクチンについてのお知らせ

高齢者が肺炎にかかると重症化します。予防として、肺炎球菌ワクチンの接種が有効です。

1回の接種で5年以上の免疫が持続するという報告があります。

自己負担として7,000円かかりますがご希望の方は医務までお問い合わせ下さい。



白島荘の面会の折は、玄関で手洗い、うがいをしていただき必要時はマスクの着用をお願いします。「風邪気味かも…」「お腹の調子が…」と思われる方は、面会を御遠慮くださいますようご協力おねがいします。
看護職員 山内 ちか子

グループホーム「華の家」通信

華の家近況



地域の方とのフラワーアレンジメント教室にて「綺麗に活けますよ」

皆さん、本体に隣接している「華の家」ってご存知ですか？私がここで勤務させて頂いたのは昨年の四月、早いもので9カ月になります。それまで本体に5年どっぴりと漬かって介護をさせて頂いておりましたので、恥ずかしながらどんな所なのか全く知らなかったのです。

「小さな家に密かに暮らしている」ごめんなさい！そんなイメージで見えていました。私の様に思っている方へ私なりに「華の家」の紹介をしたいと思います。

「華の家」は、9名のご利用者様が家族の様に生活されています。それぞれ個室がありご自宅で使用されていた馴染みの家具等を置いて落ち着いた居室になっています。

お風呂はユニットバスになっており一人一人ゆっくりと入っていただいています。日中は掃除、洗濯、お味噌汁作り、時にはお菓子作りを私たちと一緒にされています。そして皆さん、驚かれると思いますが、ラジオ体操第一、第二を朝昼夕3回行われているのですよ。健康的でしょう！

お一人お一人個性も違っておられるので、ぶつかり合う事もありますが、9名の方の中にそれぞれ役割があり直ぐに元通りとなり笑顔に変わられていくのです。そして、ご利用者様は歌が大好きで歌われない日が無い位。お祭りごと大好き、人との関わり大好き、だから私たちは様々な企画を考えています。

例えば地域の方々やご家族様をお招きしたり逆に地域の方々の支援の元、様々な行事に参加させて頂いたりしています。その中には涙あり、笑いあり、感動あり、私たちも共に学び楽しませていただいています。常に活動している大きな「華の家」なのです。

歌が好きな方、お菓子作りが好きな方、お話が好きな方、一緒に楽しませんか？デイサービスも行っています。詳しくは華の家まで。お待ちしております。グループホーム「華の家」ホーム長 齊藤 恵子



廊下にて「話がはずみます」

光明の郷ケアセンター新聞

【センター近況報告】

10月5日(火)箕面市立東小学校2年生児童の来所があり、センター各階を回って3事業それぞれと交流を持ちました。その後、東小学校児童より20名分の招待状が届き、11月26日(金)は小学校の音楽発表会に小規模と障がいデイのご利用者が参加しました。当日会場ではセンターのご紹介もしていただき、良いひと時を持ってました。

夏以降、新たなボランティアの方々のセンター訪問が相次いでいます。今後も、センター3事業(高齢デイサービス、小規模多機能ひねもす、地域活動支援センター)は地域交流行事やボランティア受け入れを積極的に進めて参ります。御来所していただきました皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

小規模多機能「ひねもす」 管理者 奥作 かおり



平成22年9月14日小規模多機能「ひねもす」御利用の土居八重子様、100歳お祝いで箕面市倉田市長の訪問がありました。

光明の郷ケアセンターサポーター祭り

外は大雨、でも、館内は来場者の熱気と笑い声で一杯。10月3日、光明の郷では「サポーター祭り」を行いました。これまでも、作品展、屋外喫茶など、地域交流の試みはいくつも行ってきましたが、今回は発想を変えました。日頃関わっていただいている利用者、ご家族、近隣の人々やボランティアの皆様などを当センターのサポーターと位置づけ、招待券配布方式の感謝イベントを企画しました。



当日の会場では、スタンプラリーとピンゴ大会を中心に、味自慢の模擬店、子どもから高齢者まで楽しめるゲームコーナーやバルーンアートのアトラクションを展開しました。手に風船やゲームの景品の駄菓子を持った子どもたちがピンゴ大会の会場へ小走りに向かい、大人の来場者も、模擬店のクレープやコロッセを食べながら談笑され、スタンプラリーの問題のヒントをスタッフに尋ねる光景も見られました。スタンプラリーの問題はセンター3事業所の事業内容や展示している利用者さんの作品に関するもので、光明の郷を知っていただこうとスタッフが工夫したものです。問題で本数を尋ねた展示作品の折り紙のひまわりを、真剣に数えている方も見られました。

また、ピンゴの景品は地元朝市の野菜を目玉に「あればうれしい!」実用品を地元のスタッフが調達し、福袋も用意しました。会場では、当たった景品を見せ合って来場者の間でお話が弾んでいました。

当日は200人弱の方に参加していただき盛況のうちに終了し、スタッフ一同喜んでます。最後になりましたが、当日ボランティアスタッフとして活躍していただいた法人他施設の仲間と福祉専門学校学生の皆様には、感謝の念で一杯です。法人40周年を迎えるこの時期に、改めて「絆」の大切さを知らされた気がします。本当に有難うございました。

地域活動支援センター 管理者 瀬川 万里子





介護科よもやま話



〈園芸活動〉



白島荘では平成22年度特別強化事業並びに事業団創立40周年記念事業として、園芸活動を行っています。
2階の中庭と3階のベランダで行うことで、より多くの人たちに参加していただくことが出来ました。

【活動内容】

5月

活動に必要な苗や種、土などを買いに行きました。



(ヒマワリ、プチトマト、キュウリ、スイカ、アサガオ、二十日大根)

昨年度に植えたイチゴの収穫、試食



7月

プチトマトの収穫、試食

ちょっとすっぱいわ



水やり



ヒマワリが咲きました。



スイカの収穫、試食



サツマイモの苗植え

6月

苗、種植え～ヒマワリ、キュウリ、プチトマト

水やり



梅雨に入って雨の日が多いので中で美女撫子の種植え



早く大きくなれよ



8月

キュウリの収穫



子どもさんたちとペットボトルプランターに野菜(人参、芽キャベツ)の植え、花植え



暑い日差しの中での水やり



9月

人参、芽キャベツ、ブロッコリーの観察

草抜き

黒豆



10月

芋掘り



大収穫



さつまいものスフレ



11月

人参の収穫



ほうれん草の収穫

園芸活動1年間を振り返って...

昨年度から行ってきた園芸活動ですが、活動場所を増やしたことによって気軽に外に出て活動を行うことができました。また野菜なども収穫したものが、皆様に種蒔きから水やりなど世話を経て、収穫すると一味も違った気分がします。今度はその収穫したもので利用者様と一緒に料理など出来たらと思います。

PR活動は随時行うことが出来ましたが、そこからボランティアの参加へなかなかつながることが出来ませんでした。今後、園芸活動に限らずとも地域とのボランティア交流を図ってまいります。

園芸活動を通して、利用者様のいつもとは違った一面、表情、言葉などに触れることができました。また職員間でも様々な交流や仕事への意欲の向上へつながったなら幸いです。今後も園芸活動を続けていき、白島荘として目玉のひとつとなればと思います。白島荘園芸係り一同



ようこそ 白島荘へ

たくさんのお花を作って暮らしていました。

映画を観ることが大好きです。どうぞ、よろしく願います。

旅館などのお座敷女中をして暮らしてきました。

昔は和裁、洋裁、詩吟もやっていました。よろしく願います。

喜多 タネ様

岡根 マサ様

学校の先生をしていました。百人一首が大好きです。

昔は百姓をしていて田んぼや畑を耕していました。

阪本 ヤ工様

村田 秀美子様

カラオケなど音楽が好きです。よろしく願います。

昔、穀物の検査員をしていました。よろしく願います。

屋代 富美子様

籠本 みよ子様

印藤 豊様

上野 静夫様

音楽を聴くことが大好きです。どうぞ、よろしく願います。

愛媛県出身で、昔は広島で船乗りをしていました。趣味は魚釣りです。魚釣りのテレビ番組を見るのも好きです。

徳島県出身です。編み物が得意です。園芸にも興味があります。どうぞよろしく願います。

日野 スエ子様

伊藤 フミ様

小泉 照男様

岡山県出身です。時計屋で修業し、大阪で時計屋を経営していました。時計のことは何でも聞いてください。

英語の教師を長年していました。趣味はゴルフです。ハンディキャップが7までいきました。

京都府宮津市出身です。田んぼや畑仕事が好きで、農業をしていました。

長年関電に勤めていました。若い頃は電柱に上り、配線工事を行っていました。

幸田 稔様

古志 祐一様

森岡 茂夫様

森野 博恵様

豊岡市で農業をしていました。皆様と楽しくお話がしたいです。よろしく願います。

園芸活動や習字が好きです。皆様とたくさんお話をして過ごしたいです。

中島 ゆき様

中村 美栄子様

霍見 チキ様



ヘルパー奮闘記

今回は、はくしまヘルパーでの出来事を日記にしました。



「テレパシー編」

訪問に行って仕事を終えて帰るとき、暑い日も寒い日も雨の日も必ずヘルパーの姿が見えなくなるまで手を振って見送って下さる方がおられます。「暗くなってヘルパーさんが帰るとなんだかさみしい。」と本音を言われます。バイクで最後の角を曲がる時、もう一度振り返るとまだこっちを見ておられます。そんな時、利用者様のさみしい気持ちがテレパシーで伝わってくるような気がして…また来ますね〜と心で返信。寒い日もほっと、あったかい気分です。

「奮闘編」

私の一番の奮闘は調理です。利用者様から「今日は〇〇を作って。」と知らない料理のリクエストがあった時にはドキドキ…どうしようとのことで、利用者様に「作り方を教えて頂けませんか?」とお願いして料理のレパートリーを増やします。おかげさまでだいぶ増えました。

「今日を大切に編」

訪問に行くのは、その利用者様と何かのご縁があつてのこと。短い訪問でもその時間を大切に心を込めて仕事する気持ちを持っていたいです。

栄養科だより

よく噛んで食べる・健康維持

いわゆる「8020運動」、80歳になっても自分の歯を20本以上残そう運動は、健康に大きく関連しています。歯が20本以下になりますと、物を食べる能力が大きく変化します。20本以上なら、ほとんどの種類を食べることができますが、10本前後ですとやわらかい肉、ゆで卵といった、あまり固くない食べ物に限定され、これが5本以下になりますと、うどんやバナナなどのかなり柔らかいものしか食べられなくなります。歯の本数が減ると栄養が偏り、健康状態の維持が困難になってきます。

白島荘の利用者の皆様も、大半が20本以下です。義歯の不具合も多くなかなかしっかり噛んで食べていただくことが困難です。食事形態を一口カット、きざみ、極きざみ、ミキサー等に展開して対応しておりますが、できるだけよく噛んで食べていただきたいと思っておりますので、現状の食事形態の維持を図れますよう努めております。

噛めば噛むほど唾液は多く分泌されます。唾液にはアミラーゼという消化酵素も含まれていますので、口の中から消化を始めることができますし、噛みくだいた食べ物を唾液にまぜると、まとめて飲み込みやすくなります。その唾液には抗菌作用もあるので、細菌感染もしにくくなります。また噛むことによって、脳や神経伝達物質も活性化することがわかっています。歯の健康は高齢者の健康維持に大きくつながっているのだと認識して、食事のサービスに努めて参ります。

管理栄養士 辻 美奈子



ナスび煮物普通食



ナスび煮物きざみ食



ナスび煮物極きざみ食



ナスび煮物ミキサー食



苦情連絡会議のご報告



- ①特養のご利用者家族様より、事前に訪問の時間を告げているにも関わらず衣類の汚れ、衣類の後ろ前での着衣、衣類間違いなど何度か指摘したが改善されていない。ミスが多すぎる。
→検討会議を行い対応に不備がないように共通認識のもと全職員に周知徹底を図りました。
- ②光明の郷ケアセンター、高齢者デイのご利用者をお迎えの際、当事業所のケアスタッフの言葉遣いを含め態度が不愉快であった。その他洗濯物の中に紙パンツが入っていた、食後の薬がきちんと飲んでおらず服についていた、送り時間が予定より遅くなることもある。
→管理者より事実確認と謝罪を行い当該ケアスタッフには厳重注意をし、研修を実施しました。またその他のご指摘に関してはそれぞれ適切に行えるように周知しました。
- ③訪問介護事業所において、破損した物品を弁償するに当たり、ご利用者の体調等を考慮せずサービス提供責任者

- が何度となく電話や訪問を行ったことに対して強引ともとれる行動に体調がより悪くなった。
→早期の解決のためにとった行動であり、配慮のなさを後日訪問ヘルパーを通じて謝罪し、今後の適切な対応のあり方について再度事業所内で検討しました。
- ④居宅介護支援事業所のケアマネによる訪問認定調査の際、不適切な言動があり不愉快な思いをした。
→訪問して内容確認をさせていただくとともに謝罪をしました。また当該職員にも事実確認を行い、今後は言動には思慮を重ねることを指導しました。
- ⑤居宅介護支援事業所の担当ケアマネの不誠実な対応に憤慨され事業所の変更をしたいとの申し出があった。
→対応の不備について謝罪し、希望事業所への引き継ぎは漏れのないようにきちんと申し送りをさせていただきました。

以上ご報告いたします。

副施設長 嵯峨 くるみ

白島荘のブログができました!

昨年11月より、各事業の日々の様子や四季折々の行事などを綴っていくブログをつくりましたので、興味のある方はご覧ください。

検索方法



- ① 白島荘ホームページ
(<http://www.osj.or.jp/hakushima/index.html>)からアクセスしてください。
- ② Googleで「特養 はくしま日記」で検索してください。



ケイタイから



- ① ケイタイ(カメラ付き)からは、
↓ QRコードを写メして
アクセスしてください。



こんな感じです→



家族会



入所者の皆様、ご家族の皆様、明けましておめでとうございます。
平成も23年を迎え昭和生まれの方々も傘寿超えとなって、90名中20名余となりました。最高齢の利用者様も104歳を迎えられ白島荘の新記録を更新されました。

皆様どうか今年も健やかにお過ごしなされる様祈念致します。私も明け
て8日には満83歳となりますが元気で頑張っております。

家族会会長 小泉 龍朗

新職員の紹介

介護職員 氷見 貴大

10月より白島荘に介護職員として配属されました。
福祉に係わる者として、利用者様のことを思い、利用者様にとってより良い生活ができるよう努力したいです。



編集後記

新しい一年が始まりました。白島荘では新しいスタッフも増え、今年も皆様と一緒に楽しく、お元気に過ごさせて頂きたいと思ひます。今後とも宜しくお願い致します。

白島荘広報編集委員

